



治安維持法の再現

政府は17年3月21日、「共謀罪」を閣議決定し、今国会で成立を目指し、5月18日衆議院通過。

評判が悪いので、「テロ等準備罪」と名称をかえて17年4月6日、衆議院本会議で審議入りを行いました。安倍首相は「一般の人が処罰の対象にならないことを、より明確にし、不安や懸念を払拭できた」とのべ、捜査機関による乱用の恐れを否定したが、野党は「誰もが犯罪集団の構成員となり得る」と追及しました。今国会最大の対決法案を巡り、早期成立を目指す政府与党と、廃案に迫りたい野党の激しい論戦が始まりましたが強行採決です。

治安維持法は1925年、成年男子に国政選挙権を与える事の恐れと抱合わせで成立させました。そ

の時の政府や大臣は、安倍首相と同じような弁解を繰返したのです。成立したら間もなく無期懲役や死刑までが追加されました。政府機関や特高警察の思うままに逮捕収監されたのです。

小林多喜二は『蟹工船』等で築地警察署で拷問のため殺されました。哲学者で法政大学教授であった三木清は友人を庇護して治安維持法違反で検挙され、敗戦直後の9月26日獄死です。

太平洋戦争に到る昭和6年の満州事変から始つた15年戦争に国民が積極的に反対が出来なかつたのは、治安維持法と特高警察への恐れが主な原因です。野党連合を組上げて、自民党独裁をやめさせましよう。
(まなべ ともみ)

労働大学企画編集委員 眞鍋 知巳